

令和5年度第3回花巻市東和地域協議会 会議録

1 会議の日時及び場所

- (1) 日時 令和6年2月22日（木）午後10時00分～午前11時17分
 (2) 場所 東和コミュニティセンター 多目的ホール

2 出席委員（出席10名、欠席5名）

区分	団体等	氏名	出欠
第1号委員 公共的団体から推薦された者	東和地域区長会会長	太田 求	出
	明日の小山田を考える会会長	浅沼 正昭	出
	浮田地区コミュニティ会議会長	千葉 雅宏	出
	花巻商工会議所東和支部会長	菊池 忠彦	出
	東和町体育協会会長	小原 順	出
	花巻市社会福祉協議会東和支部長	菊池 一良	欠
	花巻農業協同組合女性部 花巻地域支部東和支部長	下坂 誓子	欠
第2号委員 学識経験を有する者	土澤アートクラフトフェア実行委員会	武政 文彦	欠
	東和棚田のんびりRUN実行委員会委員	川村 智子	出
	東和地域民生委員児童委員協議会	小原 千賀子	欠
	東和地域教育振興運動実践協議会会長	松葉 孝博	出
	宮澤賢治東和の会会長	小原 節子	出
	土沢幼稚園PTAあやめの会会長	小原 絵里香	欠
	東和町婦人消防協力隊隊長	日下 明久美	出
第3号委員 公募委員		平野 悠広	出

3 市側出席者

○建設部（4名）

澤田都市政策課長、寺林課長補佐、川村公共交通係長、佐藤主査

○東和総合支所（5名）

菊池支所長 市民サービス課：清水課長 地域振興課：伊藤課長、及川課長補佐、伊藤地域づくり係長

4 傍聴者 (なし)

5 議事

(1) 花巻市地域公共交通計画 (素案) について

6 議事の概要

(1) 開会 (及川地域振興課課長補佐)

本会議の成立報告 (花巻市地域自治区設置条例第9条第2項)

(2) 挨拶 (松葉会長)

(3) 議事 議長 (松葉会長) が進行

(4) 閉会 (及川地域振興課課長補佐)

※会議での主な発言内容は、以下のとおり

1 開会 (司会：及川地域振興課課長補佐)

ただいまから花巻市東和地域協議会を開催いたします。

まず、委員の出席の状況についてご報告いたします。

委員15名のうち9名 (後に10名) がご出席をいただいておりますので、花巻市地域自治区設置条例第9条第2項の規定による委員の半数以上の出席を満たしており、会議が成立いたしておりますことをご報告いたします。

なお、本協議会の会議につきましては、花巻市審議会等の公開に関する指針に基づき、会議を公開することとしておりますので、ご了承いただきたいと思います。

では、挨拶に移らせていただきます。

ここで松葉東和地域協議会長からご挨拶をお願いします。

2 あいさつ (松葉会長)

おはようございます。

早い時間にお集まりいただきましてありがとうございます。

久しぶりに大雪が降って、皆様朝から大変だったと思いますが、花巻東高校の佐々木麟太郎くんがスタンフォード大学に行くということです。

花巻市は大谷翔平選手や花巻東高校野球関係でますます盛り上がるんじゃないかと思っています。個人的な意見でした。

今日は地域公共交通のいろんな素案の説明ということです。

今後の公共交通を考えるいい機会になるとと思いますので、皆様のご意見等をいただければと思います。よろしく願いいたします。

(司会：及川補佐)

ありがとうございました。

本日の会議に出席しております市の職員の方のご紹介をさせていただきます。

(司会より出席職員を紹介)

続きまして、議事に移らせていただきたいと思います。

以降の進行は花巻市地域自治区設置条例第9条第3項により、会議の議長は会長が務めることとなっておりますので、会長よろしく願いしたいと思います。

3 議事

(1) 花巻市地域公共交通計画（素案）について

議長（松葉会長）

それでは議事に移らせていただきたいと思います。

花巻市地域公共交通計画の素案についての説明をお願いいたします。

(配布資料をパワーポイントで表示し澤田課長より説明)

議長（松葉会長）

ありがとうございます。

これについてご質問等ございますでしょうか。

(太田委員)

21ページのf-1なのですが、予約乗合交通の運行形態の見直し云々とありますが、この計画は大体いつころから運行する事になるのでしょうか。

(川村係長)

現在の予定といたしまして、令和6年度内で運行形態の見直しを実施して参りまして、地域とタクシー事業者さんとの調整が整いましたならば、令和7年度から実施していければいいと考えてございます。

東和地域につきましては、12月に地域説明会を開催いたしまして、現在の週3日で月曜日、水曜日、金曜日の8時から17時までフリー運行という形から、週に5日の定時便性での運行への変更案をご説明したところでありますが、やはり鉄道との接続が若干合わなくなるということで、継続してタクシー事業者と見直しを検討してまいりたいと考えてございます。

(太田委員)

ありがとうございます。

もう一つ伺いますけれども、予約システムというのは、場所にもよるとは思いますが、今後AIシステムの導入をしていく事にはなるだろうと思うけれども、実は、運行の中で、乗った人がびっくりするのは、自分の自宅の方向へ向かわずに遠回りするため、乗った方は恐怖を感じるそうです。中にはよくわからない方もいるので、その辺の案内も必要かと思えます。

それから、現在の運行ルートで傾斜やカーブで危険なところがあるので、確認した方がいいかなという意見です。

(澤田課長)

貴重なご意見として承ります。

議長 (松葉会長)

他にございませんか。

(菊池委員)

資料14ページ施策dのところ、JRに関する部分ですけれども、釜石線に関して花巻市、遠野市と釜石市でしたか。市長さん方が協議会として連携を取っていたかと思っておりますが、その辺の記事を新聞で1～2度ぐらい載ったと思うんですけども、その後協議会で、その繋がり上でどういった動きがあるのか、もしお持ちでしたら、教えていただきたいです。

(川村係長)

昨年の9月に遠野市、釜石市、住田町と当市の首長が出席し、JR釜石線沿線自治体連絡会議が設置されたところをごさいます。今後沿線自治体が協力して、利用促進に取り組んでいこうという方針を決めたところをごさいます。

その後、本年1月に再度、沿線自治体の首長会議を開催いたしまして、令和5年度につきましては、沿線まとまった事業を一つの事業として実施するのではなく、各自自治体で取り組める利用促進事業を行いましようという方針が決定されまして、令和5年度は来月3月までの間で、沿線自治体で利用促進のための事業に取り組んでいくことが決まったところです。当市では、今月の臨時議会において、JR釜石線の利用実態をまず把握するというので、乗降調査のための予算と、あとは少しでもJR釜石線に乗っていただくように、自分たちでご利用いただいて、守っていくというマイルール意識を醸成するために、懸垂幕の設置と沿線住民の方々に時刻表とかを改めて知っていただきたいと思っております。そういったポスターの作成を予算化して取り組むところをごさいます。

もう一点、東和地域の方々を対象に、土沢線を利用しているかどうかということで、地域住民の方のアンケートを取りたいと思っております。全戸配布ではなくて、無作為抽出にはなりますけれども、アンケート調査をいたしまして、どうやったら釜石線を使っていたかというようなご意見をいただきたいと考えてございます。

(菊池委員)

ぜひ、釜石線を使ってほしいと思います。

私も花巻で会議をやる時はですね、できるだけアルコールがつくものに関しては、必ずJRを使ってJRで帰ってくるというふうにしておりますが、最終の20時54分に、高校生がかなり乗っています。平日毎日かどうかかわかりませんが、似内

で降りるケースは少ないんですが、小山田・土沢で降りるのはすごく多いです。その子たちは約20人近くで、その後の宮守方面へ行く高校生は少ないのかもしれないですけど、最終で高校生があ的人数ということは、もう少し早い19時とか18時の時間帯では、もう少し多く帰ってきているかなという気はしますので、ぜひ利用促進を進めていただきたいというのと、これは今日の議題ではないですが、土沢駅の駐車場は市で用意している駐車場でいいですよ。本来、利用客のための駐車場なのですが、残念ながら利用者ではなく、近隣住民の方の常設駐車場のようになってしまうんですね、朝晩の高校生の送り迎えのときは渋滞というか、駐車場ではなく路上にお父さんお母さんの車が並んでいる状態なんですよ。本当は駐車場でお父さんお母さんが待っていて乗ったらすぐ帰るとい形にすればいいのかもしれませんが、渋滞したからといって交通が非常に大変なことになるわけではないですけど、本来の利用の目的にあったようにしてあげないと、本来JRを利用している人が利益を得ていないということはいかななものかなという気はしています。

やはり本来の機能になっていないと、その後の利用促進につながらないし、利用につながらない元々の原因ではないと思いますが、そういう整理も必要ではないかという気はします。

あと土沢でやっているアートクラフトフェアは、JRさんとの働きかけというかお声がけもあって、ここ2年ほどはJRを使って土沢駅のアートクラフトに行きましようという形の、JRさんもキャンペーンをしていただいて、花巻市内の方でもあえてJRを使って、アートクラフトに来て、見て、買ってJRで帰るとい方も増えているんですね。JRさんもそのキャンペーンに力を入れているんだなというので、JRさんの職員も2日間土沢駅にキャンペーンを兼ねて、一応テーブル置いてですねプレゼントしたり動いていただいているのですから、一つの例ですけども、そういう形で利用促進に懸垂幕を使ったりとか、いろいろな方法で使った方がいいよねという形が望ましいです。実はどこの地域もそうですけども、路線がなくなるよって決まったときに動いては何ともならないんですよ。まだ動いていて乗る人がいる間にいろんな動きをとっていかないと、JRさんが決めた時点では何ともなりませんので、ご検討よろしくお願ひします。

(澤田課長)

釜石線につきましては、今後、沿線自治体が連携して、利用促進に取り組んでいくというふうに決めておりますので、どのような促進策になるか、これから検討していかねばいけないことをございますが、今いただいたご意見を参考にさせていただきます。少しでも1人でも多く、釜石線に乗っていただけるよう努めてまいりたいと思います。

また、乗降調査等もいたしますので、まずは釜石線の実態を調査させていただきまして、それを踏まえて今後の活動に生かしていくという考えでおりますので、また何かご意見ありましたら、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(小原節子委員)

私も谷内に住んでいまして、全くバスも何もない地域です。

それで夫が仕事で飲み会があるときは、晴山駅で迎えたりするんですけども、私は再三思っていることはですね、土沢駅まではさっき菊池さんがおっしゃったように結構利用者が多いのですが、その後の晴山駅は、もう本当に寂れただけなんですけれど、一応、谷内の人とか田瀬に行く人とか、きっと乗り降りはおたまにする人がいるとは思いますが、その晴山駅がどこにあるか標識がないんですよ。標識については多分JRがお金をかけることはないと思うので、せめて車で通る際に上瀬橋の信号機のところに標識があったらどんなにいいのかなと思います。もし、市で少しの予算があれば晴山駅の標識と、あと土沢駅もあまりないのかな、いずれJRの駅は大事だと思いますので、利用促進を図るためにも、ちょっとそういう標識を市で考えていただけたらなと思っております。よろしくお願ひします。

あと、スクールバスの乗り合い混乗の政策はとてもいいと思います。スクールバスを見ていると本当に谷内のあたりでは子供が大きなバスに2人とか3人とかで、普通の一般の方も活用できるのでしたら、すごくいい政策だと思います。

(澤田課長)

ただいまいただきましたご意見は、道路標識に関する内容になると思いますが、道路標識をJRか市のどちらで設置するかは、今、わからないところですが、晴山駅につきましては、国道であり県で管理している道路でございますので、どこで設置すればいいのか、どこに要望すればいいのか、その辺を確認して、いただいたご意見は県にお繋ぎしたいと思います。

議長 (松葉会長)

他にございませんか。

(日下委員)

釜石線のことについてちょっとお話したいと思うんですけど、私は今まで車の免許を取ってから、公共交通というものにあまり頼らない生活をしております。盛岡で会議があるときに、釜石線の快速列車に乗ろうと思って、私は浮田というところに住んでおまして、家族に土沢駅まで送ってもらって、ホームで待っておりましたらば、アナウンスで、今日は強風のため運休ですっていうのが流れ、それで結局また家に電話して、盛岡まで車で送ってもらったことあるんですけども、時々運休するっていうのはちょっと公共交通機関としては当てにならないし、全面的に期待できないところがあるような気がします。

それから、駅も学生の頃だいぶ前ですけども、釜石線を利用しておりました。現在は、切符の販売機とかも綺麗に取り除かれていて、よく来てくれましたっていう雰囲気ではなくなっており、やっぱり地域で支えていこうということになったならば、釜石線を使うように仕向けていかなきゃならないと思うんですね。実際車を使って盛岡に行ける人でも、釜石線を使っていきましょうとか、そういう取り組みをしないと、今特に困っていない人たちは、公共交通にあんまり目を向けないのではないかと、利便性が良いよくないですし、行きたいときに行けない状況ですから、そのところを工夫して、みんなを公共交通の利用に働きかけるような対策が必要ではないかと思えます。

(川村係長)

確かに釜石線は強風で止まることが多々あるという事は認識してございましたけれども、その点についてはJRさんが運行する上での安全の判断での運休だと思います。運休情報の周知方法については、駅舎についてからわかるようなものではなく、何かしら方法があるか、JRさんの方に相談やご意見等あった事はお伝えしたいと思っております。

あと土沢駅の駅舎の事につきましては、現場を確認しておりませんので、どういった内装になっているか把握してございませんけれども、現状を確認した上で、何かしらの対策があるのであれば、支所の方とも相談しながら検討してまいりたいと思っております。

議長（松葉会長）

他にございませんか。

（川村委員）

私も同じく釜石線と同じような感想なんですけれど、電車に乗るときに、駅員さんがいらっしゃらない駅ばかりなので、全く切符券売機もないので、以前は土沢駅駅員さんがいてくれて券売機があったので、買い方はわかったんですけど、今は本当にポツンと小屋みたいなのがあるだけなので、多分観光の方も車で普段移動される方も駅に行った時点で、どういうふうにしていいかわからない感じの駅になっているので、何かもう少し電車に乗るのに、バスみたいに電車に乗ってから券を取るみたいな簡単なことなのですが、乗り慣れてないとどういうふうにするのかシステムがわからない感じになっちゃうので、何かマップじゃないですけど、時刻表と一緒にこのように乗りますみたいなのが一緒にあるともう少し利用するのかなって思います。

議長（松葉会長）

ありがとうございます。

何かありますか。

(川村係長)

駅舎の無人化については東北本線の方でも花巻空港駅や石鳥谷駅が、来月3月16日から無人化になるということで、JRさんの方でもこのコロナ禍において経営状況があまり良くない状況にあり、また東北本線の方ではSuicaが使えるようになったので無人化を推進していくというような説明を受けている次第です。

ただ今回、花巻空港駅と石鳥谷駅の無人化に合わせて、地域の方々に乗り方がわからない方もいらっしゃるということで、チラシを配布しようかなというふうには考えておりましたので、今回作成するポスターに乗り方や降り方を載せるスペースがあるのであれば掲載し、周知していきたいと考えております。

議長 (松葉会長)

ありがとうございます。

他にございますか。

(小原節子委員)

ただ今、日下さんと副会長の川村さんがおっしゃったことに対してですね、私は逆に谷内に住んで20年になるのですが、釜石線はあんな利用者でもよく走ってくれるんだなって思っていました。

ですから、事業者は利益が上がらないものでも、一生懸命走らせてくれるんだって思っております。なくなったら大変なことになると思いますので、とにかく市民の利用がまばらで、事業者が利益を上げられないとやっぱりカットしてくる事は当たり前だと思うんですね。人が少なくなっていますし、レストランなんかでも店員さんが少ないのかロボットで食べ物を運んでいるようで、とにかく人が少なくなって民間は利益を上げられないものはしょうがなく切るのだと思うんですね。もう断腸の思いで切ると思います。ですからそれをしないために、一生懸命釜石線を利用するように盛岡の友達には車を置いて釜石線で来てねとか、そういうふうになるべく形でできることを少しずつやっているんですけど、さっきも申しましたように、とにかく土沢駅、晴山駅、宮守駅に表示が全くないんですね。そこら辺をちょっと考えていただけたら、もう少し遠くから来る人たちも釜石線をもっと利用できるんじゃないかと思っている1人でしたのでよろしくお願いします。

いずれ過疎地ですから私の住んでいるところは、もしこうなってきたら駄目になったら土沢のあたりに、集合住宅に谷内や田瀬の部落のお年寄りを集合させて、そしてコスモポリタンをそこで作っていくような、そういう日本になっていくのではないかと私は思っておりますけれども、いずれ大変な問題です。少子高齢化で過疎地はどんどん人が少なくなって、でも行政は一生懸命今日の説明を頑張ってくれているんだなっていうことをすごく感じております。感謝申し上げます。ただそれと住民の意識を一緒にするという、すぐ工事しないと利用ができないという時代ではないと私は思っております。ですから、そういう意識改革をやっぱり行政の方はしていただいて、カッコいいことばかりはできない時代だと思いますので、そこら辺は住民もそれに納得しながら、どうしていけば地域が生きていけるのかということを考えていく時代だと思っております。以上です。

議長（松葉会長）

ありがとうございます。

他にございますか。

・

（菊池委員）

質問ではなくて先ほどから市の方でいろんなことをやっていただくのは本当にありがたいなと思いますし、本来はJRさんがやることじゃないのっていうところまで、例えば切符の買い方、これJRさんがやるべきことであって、市でやるべき範囲ではないと思うんですけど、やっていただくのはありがたいと思います。

チラシとかポスターですけど、あそこは駅に貼っとくのが一番いいと思います。駅に来ただけで、どうやるのっていうのが皆さんクエスチョンで、初めて来た人は切符買うところもないし、どうやって乗るのっていう感じになるんですね。なので、やっぱりそこに行った時にわかれば一番いいだろうというのが一つと、あとは残念ながらさっき日下さんが言ったのは実際に風が強くて運休になるというのは、ある年齢以下の方々はスマホで大体情報取っているんですけど、朝になると運行状況がスマホで拾えるので、多分高校生たちはそれで情報拾って、今日は乗れないねとか、遅れるねというのを把握して、今日は車で送ってもらうしかないねという手段を取っているだろうと思われます。これに関しては全く市の管轄ではなくて、JRさんに言っても多分ホームページを見てください、あるいはスマホの方でアップしていますからちよっ

と確認してくださいという方向しか無理じゃないかなと想像されますけれども、本来JRさんがやることであっても、JRさんが動かないと思うので、この公共ネットワークのイメージ図は非常によく作られているなど、すごく配慮して、ちょうど中心部のところにハブのように、ここにさえ来れば、次のところにいけますっていう非常にこれはよく考えられていると思いますし、中心部へ行くと多分少々高くてもJRで花巻まで行くと、そこから次の手段を使えるねっていう選択肢がこれで見えてくるので、非常にいいのかなというふうに思いました。

以上でございます。

(澤田課長)

まず、その駅舎内への切符の買い方等の表示でございますが、他の駅で無人化ということで、来月半ばあたりなのですが、JRで作っていただきました切符の買い方のチラシがございますので、そのチラシの案内を転用できないかJRの方にお繋ぎいたします。確かに切符の買い方は、初めて買う方にとってはすごく不安に思うと思いますので、解消のためにもJRに対応していただくように繋げていきたいと思っております。

また、運行状況につきましては、JRの所管で、スマホとかホームページで情報提供されていますが、例えばテレビでも運行状況はデータ放送でタイムリーかどうかはわからないんですが、NHKの運行状況っていうところで、クリックしていただければ、赤で運行状況とか表示されておりますので、もしよろしければそちらもご活用いただければと思います。

議長 (松葉会長)

ありがとうございます。

他にございますか。

それでは、私から一つ。

釜石線がなくなると、すごく大変だと思いますが、車に乗っているうちは、釜石線はなかなか利用しないと思うんです。その市民の意識を利用するように高めていかなければいけないと思うんですけど、その辺はいろいろ工夫が必要だと思うんですが、それは都市政策課さんだけで考えて、いろんな工夫をしていくのですか。

(澤田課長)

利用促進につきましては、当課の都市政策課もちろんですが、観光面もございまして、観光担当部局とも連携しながら利用促進について検討していきたいと考えています。

議長 (松葉会長)

市民の意識を使おうというふうに高めることが必要だと思うんですけど、何か一つ具体的な案があれば、お聞かせください。

(澤田課長)

まずは市民の方々に釜石線の現状を知っていただく、これが一番だと思います。これくらいの莫大な赤字がある中で、JRが運行しているということを認識していただくことがまず一番だと思います。来月中に利用促進策といたしまして、懸垂幕やポスターの作成のほか、乗降調査、アンケート調査を実施いたしますが、それらを通じて市民の皆さんには、マイレール意識の醸成を、そういう考え方を少しでも広めていくように努力していきたいと思います。それが特効薬になるかという事はこれから考えていかなければならないところですが、それにつきましては年度を越えて数年かけて、花巻、遠野、住田、釜石これらの自治体一緒になって、連携して考えなければならぬと考えております。

議長 (松葉会長)

ありがとうございます。

すごく期待しております。

北上の友達が僕のところに遊びに来て酒飲んで、釜石線で花巻駅まで行って東北本線で北上に帰っています。普段から電車を使っている人間は当たり前でも、車で来て運転代行で帰る方法しか考えていない人間からすると、そのスイッチのチェンジ一つで、利用が増えてずいぶん違うのかなと思っています。

(小原節子委員)

先ほど課長が観光面も考えてとおっしゃったので、今ちょっと思いついたんですけど、丹内山神社ですが、例年元旦のあたりですけど、それなりに人は来ますが、今年は本当にすごい人数が1月1日にお守りを買うのにすごく並んでいました。今、丹内山神社は県の指定の神社なんですけれども、ご存じかもしれませんが、結構すごいことになっているようなんです。もしかしたら花巻の観光名所となっているのかなと、娘たちもびっくりしていました。いずれ、東京でも神社巡りがすごく若者たちの間で流行っているそうですが、かなりの人数が今訪れておりますので、ちょっとだけお知らせいたします。よろしくをお願いします。

議長（松葉会長）

ありがとうございます。

他によろしいですか。

(小原順委員)

蛇足ですけども、レジュメにもありますけれども、いろんな広報活動してあげているようでございますが、各コミュニティでおそらくコミュニティだけで発行していると思うんですが、コミュニティだよりだと、各家庭で一番身近な話題なので隅々まで見てくれると思うんですが、それが利用して現状と課題を繰り返しPRすることがあってもいいのではないかと思います。この頃ですと、消防署からホームタンクの利用についてのPRなんか出ていましたけど、そういった形で余白があったら、こういったことを載せて、現状を知っていただきたいというような形のワンポイント広報ができれば、あらかじめ資料を頂戴して繰り返し活用して、PRできるんじゃないかと思えます。例えば、さっきの駅の利用方法なんかも、チラシと併せて載せるとか、貴重な紙面ではありますけれども、ぜひ活用していただければ、もっと使っていただけるんじゃないかなというふうに思います。以上です。

議長（松葉会長）

他はよろしいですか。

それではいろいろたくさん、ご意見あったと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、議事は終了したいと思います。

その他ですけれども、事務局の方からありますか。

(司会：及川補佐)

特に準備はしていないんですが、今後の予定だけ都市政策課からも説明ありましたけれども、来月も開催させていただいて、議論いただかなければいけないというものがございまして、4月にも予定しているということでお知らせいたします。一応頭の中に入れていただければと思います。

よろしく願いいたします。

議長（松葉会長）

それでは事務局に戻します。

(司会：及川補佐)

皆さま、大変貴重なご意見をたくさんいただきましてありがとうございました。それではこれで、東和地域協議会を終了させていただきたいと思います。

ありがとうございました。